

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	必修
担当教員			
藤井 嵩子			
火3、4			
添付ファイル			

科目の概要	健康科学とは、小児から成長期を経て成人となり高齢に至るまで、心と身体を健やかに保つための手段を科学的に観察し考察・研究する分野です。また、生化学、解剖生理学のような基礎的学問や病態学、医学、看護学、心理学、運動生理学のみならず、応用的な実学、社会学、経済学、哲学まで非常に多くの分野を包括する分野なので広い視野をもって健康とは何かを考え学ぶ。「科学的に研究する」ことの意味は「証拠に基づいた」観点から理解することの大切さ知り、そのように考えることを身につけることです
授業の内容	<p>第1回 ガイダンス 授業の流れを説明</p> <p>第2回 現代の健康問題概観 現代の健康問題について考える</p> <p>第3回 心と健康 心の健康・不健康とはなにか</p> <p>第4回 適応と健康 生きていくうえで必要な仕組みについて理解する</p> <p>第5回 健康の基礎 環境と健康について考察する</p> <p>第6回 栄養と健康 栄養・健康に関する社会的諸問題</p> <p>第7回 生活習慣と健康 生活習慣と生活習慣病について考察する</p> <p>第8回 生活習慣と健康 アルコール摂取と健康について考察する</p> <p>第9回 社会と健康 集団と健康</p> <p>第10回 経済と健康 経済的格差の拡大と健康について考察する</p> <p>第11回 法と健康 健康にかかわる法律</p> <p>第12回 交通・輸送の革新と健康 交通事故防止・対策について考察する</p> <p>第13回 住宅と健康 住宅と健康の基本原則</p> <p>第14回 健康観と健康に関する社会のしくみ 保健・医療制度と健康に関する仕組み</p> <p>第15回 まとめ 健康の維持・増進について深く考察する</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	健康とは何か、健康を科学的に理解できるよう理解を進める。また、広い視野をもって現代社会の問題点について深く掘り下げて理解を進めると同時に、健康を維持・増進する方法について理解を進める。
授業の方法	講義形式で行います。
成績評価の方法	小テスト、グループワーク（授業態度）30% 定期試験 70%
教科書・テキスト	教科書「テキスト 健康科学 改定第2版」南江堂
参考書	特に指定なし
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	「分からない」ではなく、「初めて知った、覚えよう」という意識を持ってください。
履修上の留意事項	テキストを忘れずに持ってきてください。

オフィスアワー	火曜日 2時間目
実務経験	管理栄養士、フードスペシャリスト
その他	特に有りません。